



news release

北海道コカ・コーラボトリング株式会社

〒004-8588 札幌市清田区清田一条一丁目2番1号

[URL] <http://www.hokkaido.ccbc.co.jp/>

2018年11月7日

報道関係者各位

北海道の環境を守るあなたの1本「ジョージア サントスプレミアム」北海道限定デザインが支援する活動



「北海道e-水（イーミズ）プロジェクト」 第9回 北海道e-水フォーラム開催

北海道コカ・コーラボトリング株式会社(本社：札幌市清田区 代表取締役社長：佐々木康行)は、2018年11月16日(金)、「第9回 北海道e-水フォーラム」を下記の通り開催いたしますので、ご案内申し上げます。

「北海道e-水プロジェクト」は、2009年11月、北海道と当社との間で締結した「環境保全に関するパートナーシップ協定」に基づき、北海道の豊かで美しい「水」を中心とした自然環境を守り次世代へと引き継いでいくことを目的とし、北海道、公益財団法人北海道環境財団、当社の三者協働で取り組むプロジェクトです。

当社が販売する「ジョージア サントスプレミアム」北海道限定デザインの売上の一部を(公財)北海道環境財団に寄付し、道内各地域で水辺の環境保全活動に取り組む団体および流域ネットワークの活動を支援するもので、2018年で9回目を迎えます。

当フォーラムでは本年度の寄付金7,574,018円(累計寄付額117,551,372円)の贈呈式をはじめ、本年度採択された活動団体(8団体)の年間活動報告、有識者による基調講演が行われます。

【第9回 北海道e-水フォーラム 概要】

日時	2018年11月16日(金) 18:00~20:30
場所	札幌国際ビル8階 国際ホール 札幌市中央区北4条西4丁目1番地
申込み先	公益財団法人 北海道環境財団 電話：011-218-7811
定員	120名(参加費無料)
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・寄付金贈呈式 ・活動団体発表(8団体) ※各団体の詳細については別紙参照 ・講演 若菜 勇 氏 (釧路国際ウェットランドセンター 阿寒湖沼群・マリモ研究室室長 北海道大学大学院地球環境科学研究院客員教授) 「マリモからみた北海道の水環境」
主催	北海道、公益財団法人北海道環境財団、北海道コカ・コーラボトリング株式会社
備考	来場者に「ジョージアサントスプレミアム」&「い・ろ・は・す」をプレゼント

～北海道の環境を守る あなたの1本～



・「ジョージア サントスプレミアム」北海道限定デザインによる、北海道の水辺の環境保全に向けた寄付は、2016年に累計1億円を突破、2018年までの9年間で約91団体を支援、活動の輪は北海道一円に拡大しています。

※北海道e-水プロジェクトの前身となる、北海道との「環境保護活動の推進に関する協定」に基づく寄付を含めた累計寄付額(2008年～2016年)

・「北海道e-水プロジェクト」は「北海道みらい事業」に登録されています。



■ 別紙1 2018年度 北海道 e-水プロジェクト 支援団体 (敬称略)

	団体名/事業名	所在地	活動地域	事業概要
1	北海道大学総合博物館 昆虫ボランティア 水生昆虫グループ	札幌市 (北区)	標本(水生昆虫)が採集された北海道内の河川全般	北大博物館収蔵庫内の水生昆虫の同定、データベース登録を行う。ホームページ・パンフレットにより、環境資源保全の重要性を発信。一部の標本はミニ展示を行う。昆虫サロンを開催し、活動内容を発表する。
	水生昆虫標本データベース化により河川環境を考える			
2	石狩川流域 湿地・水辺・海岸ネットワーク	札幌市 (手稲区)	石狩川中下流域 (空知・石狩)	湿地のCEPAプログラムを現場で行う活動。未保全湿地の調査、リスト化、探索会の開催、普及啓発のための映像製作等の活動、湿地の活用ワークショップ、活動団体紹介や専門家の話による温床カフェの開催など。
	石狩川流域湿地環境啓発事業			
3	宮島沼の会	美瑛市	宮島沼とその周辺、石狩浜	子どもたちの組織「マガレンジャー」の活動として、米粉を使用した料理づくり、いしかりUMIBEキッズクラブと海辺の化石探しと標本づくり、宮島沼の水質保全のために葦の刈り取り、葦紙の作成、田んぼの生き物を捕獲し、オリジナル図鑑づくりを行う。
	自然戦隊マガレンジャーの活動支援			
4	羽幌みんなでつくる自然空間協議会	羽幌町	羽幌ビオトープとその周辺(福寿川流域)	福寿川流域のビオトープを保全するため、協議会、町民参加、羽幌高校と協働で、樹木・水圏生物・昆虫相の調査を行う。調査結果は取りまとめの上、報告会を行うほか、インターネット上でデータの公開を行う。
	羽幌ビオトープでの生物多様性評価のための調査			
5	一般社団法人天売島おらが島活性化会議	天売島	苫前郡羽幌町 天売島	子どもを含む若い世代や島外の人たちに、水資源の循環の重要性を理解してもらうために、水資源に関するセミナー、島外の子どもたちを対象にした間伐体験や炭づくり等の実施、黒崎海岸一斉清掃、SDGsシンポジウムの開催を行う。
	自然環境と野鳥と人が共生するための環境学習事業			
6	北海道北見北斗高等学校サイエンスクラブ グローバルアクションプロジェクト	北見市	常呂川水系流域 (置戸町、訓子府町、北見市)	常呂川水系に対する住民の関心喚起・意識の向上、河川環境保全に対する意識の向上を目的として、同水系における河川ゴミ調査と水質・底生動物調査、水ミーティング2018の実施。
	グローバルでいこう！水環境保全意識の向上をめざす「水ミーティング2018」			
7	阿寒湖のマリモ保全推進委員会	釧路市	阿寒湖	カナディアンカヌー2艘を連結した調査船の作成とそれを利用した地域の子どもたちによるマリモ調査を行う。調査結果はホームページで発信し、報告書も作成する。
	地域一体となったマリモ群生地への復元再生活動			
8	北海道七飯高等学校 科学部	七飯町	渡島大沼及びその流域河川と周辺湖沼	大沼周辺に生息する特定外来種ウシガエルの捕獲、分布調査、胃の内容物調査等により、繁殖地や繁殖期間、食性などを明らかにし、効果的な拡散防止の取り組みに活かす。e-水の活動期間終了後であるが、大沼研究発表会にて発表も予定
	渡島大沼の特定外来生物であるウシガエルの分布拡大の防止及び駆除を目的とした生息調査			

- ・対象となる団体：道内の水辺における環境保全事業を行う非営利の団体または流域ネットワーク
- ・対象となる事業：道内の水辺（川、海、湖沼など）において環境保全活動を行う非営利の団体（または流域ネットワーク）が行う事業。

当社は、「北の大地とともに」をスローガンに、道産子企業として、北海道の魅力をさらに高める活動、地域課題解決への協力、次世代を担う子どもたちに将来の地球の姿を考える場の提供、安全で安心な地域づくりを応援する取り組みなど、事業活動を通して継続的に推進してまいります。



＜本件に関するお問い合わせ先＞

北海道コカ・コーラボトリング株式会社 広報・CSR 推進部

担当：小野 TEL 011-888-2091

■ 参考1 北海道e-水（イーミズ）プロジェクトとは

- 北海道には豊かな水資源とそれを取り巻く美しい自然があります。この北海道の恵まれた水とそれを含む自然環境を道民全体で保全し、未来に引き継いでいくため、道民、事業者、行政の協働のもとで地域における水辺の環境保全活動に取り組む事業が「北海道e-水プロジェクト」です。
- エコロジーをイメージする「e」と「きれいな水」というイメージを重ね合わせ、「北海道e-水（イーミズ）プロジェクト」と名付けました。
- 2010年から始まったこの「北海道e-水プロジェクト」はこれまで9年間で延べ91の団体を支援、活動の輪は全道一円に拡大しています。
- 「北海道e-水プロジェクト」は「北海道みらい事業」に登録されています。



■ 参考2 寄附金額の推移

2008～2017年 寄付額実績 109,777,354円

2018年 今回寄付額 7,574,018円

寄付額累計 117,551,372円 内) 北海道e-水プロジェクト 93,173,177円

※北海道e-水プロジェクトの前身となる、北海道との「環境保護活動の推進に関する協定」に基づく寄付を含めた累計寄付額（2008年～2016年）

■ 参考3 第19回 日本水大賞「審査部会特別賞」受賞（2017年7月）

- 日本水大賞は日本水大賞委員会（名誉総裁 秋篠宮殿下、委員長 毛利 衛）と国土交通省が主催となり、水環境の健全化に向けた諸活動を広く顕彰し活動を広く支援するために、1998年6月に創設された賞で、水環境におけるすべての団体、個人の研究活動を対象とした国内唯一の賞。

『当社の受賞理由』

北海道は、大小さまざまな河川や湖沼が存在し、全国の湿地の約86%が集中し、積雪の多さなどから世界的に見ても貴重な水の大地といえます。この水の大地を、健全な形で次世代に引き継いでいくことが重要です。

北海道コカ・コーラボトリング（株）は、地域限定商品の売り上げの一部を使い、北海道、北海道環境財団の三者協働事業として、北海道e-水プロジェクトを実施しています。

このプロジェクトは、水環境保全を目的としたフォーラムを開催したり、水生外来種駆除など環境保全活動を支援したりしています。企業が、社会的役割を認識して消費者と水循環健全化活動を結び付けていること、企業と行政と団体と協働することで実効性が高いことは特筆に値します。こうした企業活動がさらに盛んになることを願い、審査部会特別賞にふさわしいと判断しました。

（※国土交通省発表「日本水大賞」報道発表資料 別添より引用）



第19回 日本水大賞授賞式



日本水大賞 審査部会特別賞



北海道みらい事業

第9回

2018年11月16日[金]

時間 18:00~20:30

会場 札幌国際ビル8F 国際ホール
札幌市中央区北4条西4丁目1番地 地下鉄さっぽろ駅8番出口直結

参加費 無料(定員120名) ※要事前申し込み・先着順

活動団体発表

- ・阿寒湖のマリモ保全推進委員会(釧路市)
- ・石狩川流域 湿地・水辺・海岸ネットワーク(札幌市)
- ・一般社団法人天売島おらが島活性化会議(天売島)
- ・羽幌みんなでつくる自然空間協議会(羽幌町)
- ・北海道北見北斗高等学校サイエンスクラブ グローカルアクションプロジェクト(北見市)
- ・北海道大学総合博物館 昆虫ボランティア 水生昆虫グループ(札幌市)
- ・北海道七飯高等学校 科学部(七飯町)
- ・宮島沼の会(美瑛市) ※五十音順

基調講演 「マリモからみた北海道の水環境」



講師：若菜 勇氏(わかな いさむ)

釧路国際ウェットランドセンター 阿寒湖沼群・マリモ研究室室長
北海道大学大学院地球環境科学研究院客員教授

100近い湖沼が点在する北海道。そのいくつかのマリモが分布し、阿寒湖にだけ球状のマリモが群生しています。なぜマリモの生育は限られるのか。同じ生物なのに、なぜ阿寒湖でのみ球化するのか。そして、ほとんどの湖沼でマリモが姿を消す中、なぜ阿寒湖で残存できたのか。こうした問いに答えつつ、得られた研究成果から北海道の水環境の「いま」を考えます。

プロフィール

岩手県花巻市出身。北海道大学大学院理学研究科修了(理学博士)。絶滅が危惧される特別天然記念物「阿寒湖のマリモ」の保全対策を確立すべく、1991年から阿寒町教育委員会および釧路市教育委員会で研究・教育活動に従事し、2012年に「マリモ保護管理計画」を策定。2018年から現職。「マリモはみんなで守る」をモットーに、国内外の多くの共同研究者や市民ボランティアとともに世界各地のマリモ湖沼を踏査して生態の解明につくす一方、普及啓発にも取り組んでいる。

参加プレゼント! ご参加いただいた方に「ジョージア・サントスプレミアム」北海道限定デザイン＆「いろはす」をプレゼント!

※「ジョージア・サントスプレミアム」北海道限定デザインの売り上げの一部は「北海道e-水プロジェクト」の活動資金として活用されています。



北海道の水環境を守る活動に取り組んでいる支援団体の活動報告を行うとともに「阿寒湖のマリモ」の保全対策などに取り組んでいる若菜 勇さんに水環境保全の視点からご講演をいただきます。

北海道e-水フォーラム

<お申込み・お問合せ先> 公益財団法人北海道環境財団 北海道e-水プロジェクト事務局

TEL 011-218-7811 FAX 011-218-7812 E-Mail emizu@heco-spc.or.jp

※FAX、E-Mailの方は、お名前(ふりがな)、ご所属、お電話番号をお知らせください。いただいた個人情報は、本フォーラムの連絡以外には使用いたしません。

主催：北海道、北海道コカ・コーラボトリング株式会社、公益財団法人北海道環境財団

北海道e-水プロジェクトは、北海道、北海道コカ・コーラボトリング株式会社、公益財団法人北海道環境財団の協働事業として、北海道の水環境保全活動に取り組んでいます。 北海道e-水プロジェクト

